



あったか言葉のプレゼント



ねらい

話をして初めて気付く相手の素晴らしさにふれ、その素晴らしさを互いに賞賛することにより、人間関係の中での「認め合うこと」の大切さについて考えます。

| | | | |
|-------|---|------|------------|
| ◇時間◇ | 45分 | ◇人数◇ | 1グループ4人~6人 |
| ◇準備物◇ | 話題付きサイコロ または 普通のサイコロ（ワークシートあり） ストップウォッチ ※サイコロ展開図及びワークシートはダウンロード可 | | |

展開

1 グループでサイコロトークを2周します。

<進め方>

- 出た目について、2分間ずつ話をします。
- 話しにくいものはパスして、何度サイコロを振っても構いません。
- 話を聞いている人は、話し手が気持ちよく話せるよう配慮し、自分とは違った考えでも尊重します。
- 話が終わってしまったグループは、聞いていた人がその話をさらに詳しく知るための質問をします。

| サイコロトーク おしゃべりテーマ | |
|---------------------|----------|
| ● | 好きな食べ物 |
| ●● | 好きな飲み物 |
| ●●● | 好きなテレビ番組 |
| ●●●● | 好きな場所 |
| ●●●●● | 好きな有名人 |
| ●●●●●● | 好きなこと |



「健康法」や「生きがい」など、テーマを変えてもいいですね。

2 聞いた話をもとに、「知ったこと」「感じたこと」「雰囲気」「話し方・聞き方」などから考えて、グループ全員で一人のことを45秒間褒め続けます。

<進め方>

- 褒められる人は、一人ずつ順番に変わります。
- ちょっとしたことでも素晴らしい点を見つけ、大きく褒めましょう。
- 褒められている人は、ウンウンとうなずきながら黙って聞きます。
- 褒められている人は、たとえ間が空いてしまっても怒らないでください。

3 褒められたとき、どんな気持ちだったか感想を発表します。

4 「褒める」ことの影響や効果について考えてみます。

5 お互いに気持ちのよい関係でいるために、どんなことが必要かを話し合い、これからの生活で生かしていきます。

***** ファシリテーターの言葉かけ例 *****

展開1 これから、グループごとにサイコロトークをしていきます。サイコロを振って、出た目のテーマについて2分間ずつ話をしていきます。時間になったら、次の人がサイコロを振ってお話をします。その時の、進め方を説明します。(左ページの進め方参照。)

それでは、グループの中で私に一番近い人から、時計回りに進めていきます。サイコロトークは2周行います。では、どうぞ。

※1人2分間ずつ、2周行う。

展開2 みなさん、サイコロトークをとおして、ずいぶん心と心の距離が縮まったのではないのでしょうか。では、もっとすてきな関係を築けるように、グループの仲間にあったか言葉をプレゼントしたいと思います。今日のプレゼントは、「褒め言葉」です。

みなさんは、家族や友達のことを普段からよく褒めていますか。もしかしたら、私たちは、あまり褒めることに慣れていないのかもしれませんがね。だから、今日は練習のつもりで、「褒め言葉」を口に出してみましょ。

では、先ほどのサイコロトークの場面を思い出してください。「わかったこと」「感じたこと」「雰囲気」「話し方・聴き方」などから考えて、ちょっとしたことを大きく褒めてみましょう。グループのみんなで、一人ずつ45秒間褒め続けます。その時の進め方について説明しますね。(左ページの進め方参照)

最初に、サイコロトークで一番目に話した人に、あったか言葉をプレゼントしてみましょう。その後は、時計回りに褒められる人が変わっていきます。さあ、これから褒める人のことをよく見つめてください。(15秒間) それでは、プレゼントの時間です。どうぞ。(45秒間)

※その後同様に、1人1分間(15秒間準備、45秒間褒める。)ずつ交代する。

展開3 みなさん、グループの仲間からたくさん褒めてもらったと思いますが、今どんな気持ちですか。(何人かに尋ねます。)

展開4 少し「褒める」ということについて、考えてみましょう。

○私たちは褒めてくれた相手を、どんなふうに感じるのでしょうか。

○どうして褒められると、うれしくなったり、気持ちよくなったりするのでしょうか。

展開5 「褒める」ということは、時に「御機嫌取り」と誤解されることもありますが、「コミュニケーションの潤滑油」だと言われています。「褒める」ということは、「相手を認める」ということです。だから、どんどん相手との距離が縮まっていきます。遠慮せずに「褒め言葉」を使って、お互いに認め合える関係をつくっていきたいですね。

それでは、お互い気持ちのよい関係にいるために、これからの生活の中のどんな場面で「褒め言葉」を使ってみたいと思いますか。(数名発表。)

今日の気付きを、これからの生活の中に生かしていけると素晴らしいですね。

YES?NO? どちらにする??

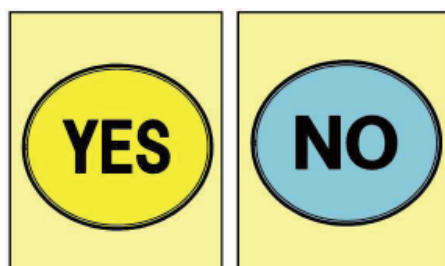
ねらい

自分の意見を大切にしながら、自分とは異なる意見にも耳を傾け、互いを尊重することの大切さ、固定観念や偏見にとらわれずに物事を幅広く見ることの大切さに気付きます。

| | | | |
|-------|--------------------------|------|--------------------------|
| ◇時間◇ | 40分～ | ◇人数◇ | 1グループ5人～7人（2グループ以上が望ましい） |
| ◇準備物◇ | YES/NOカード 質問カード サイコロ 得点表 | | |

展開

1 YES/NOカード（全員分）、質問カード（グループ数分、枚数は時間に応じる）、サイコロ（グループ1個）、得点表（グループ1枚）を配ります。質問カードは裏返しにしておき、各グループでリーダー（質問カードの読み手・進行・サイコロを振る役）を決めます。



2 やり方の説明を聞いて、ゲームを始めます。

〈やり方〉

- ①リーダーが質問カードを1枚めくり、質問を読みます。
- ②全員（リーダーも）質問に対する答えを決め、YES/NOのどちらかのカードを裏向きにして自分の前に置きます。
- ③リーダーの合図でカードを表にします。
※このゲームに正解はないことを確認します。
- ④リーダーがサイコロを振り、勝敗を決め、点数表にポイントを記入します。

質問カード例

運転免許はあっても、高齢者は車の運転を控えた方がよいと思う。

- 【そうだと思う（YES）
・そうは思わない（NO）】

☆ポイントの例

勝ち…2ポイント、引き分け…1ポイント、負け…0ポイント

- ・リーダーが振ったサイコロの目が1～3のときは少数派の勝ち。4～6のときは多数派の勝ち。
- ・1人だけが違うカードのときは、その人だけが勝ち。
- ・人数が偶数のグループでカードが同数ずつの時（6人グループでYESが3人、NOが3人のときなど）は引き分け。

3 ポイントを付けたら、カードを選んだ理由を一人一人発表します。このときに自分と違う意見の人がいても、否定せずに聞くようにします。発表が終わったら、他のグループの人に質問をしたり、問題について話し合ったりして、お互いに考え方を深められるようにします。ひと通り話し合いが終わったら次のカードに進みます。

4 最後のカードが終わったらポイントを確認し、たくさんポイントを取った人に拍手を送ります。

5 ゲーム全体をとおしての感想やどんなことに気付いたかを話し合います。その後でグループごとに発表し、全体で共有します。

6 活動のふりかえりをします。

***** ファシリテーターの言葉かけ例 *****

展開1 これから、二者択一の場面で、あなたならどちらを選ぶかというゲームをとおして、ものの見方やとらえ方について考えていきます。身近な生活の中での出来事について考えていきますので、硬くならずリラックスして参加してください。

カードを配ります。配られたらYES/NOカードは各自自分の前に、質問カードは重ねたまま机の真ん中に、どちらも裏返しにしておいてください。（ポイントカードを使うとき）ポイントが書いてあるカードは表向きで構いません。

展開2 まず、確認をします。このゲームには正解はありません。正解を出すことではなく、いろいろな見方があることを体験するのがこのゲームの目的です。

次にゲームのやり方を説明します。（※左ページの〈やり方〉①～③を説明する。）

（④について）

全員がカードを表にしたら、リーダーはサイコロを1回振ります。サイコロの目が1～3のときは、YESかNOの少なかった方が勝ちです。4～6のときは、逆に多かった方の勝ちです。また、一人しか選んだ人がいなかった場合は、他の人が気付かない点に目を向けたということで、その人だけが勝ちです。勝ちが2点で、負けは残念ながら0点です。ただし、偶数のグループで、YES/NOが同数のときは引き分けとし、全員に1点ずつ与えます。勝敗が決まりましたら、得点表に得点を付けます。

ここまで確認できましたら始めましょう。

展開3 （ポイントが決まったら）どうしてそのカードを選んだのかを、グループ内で一人一人理由を発表してください。注意点として、自分とは違う考え方の人もいるかもしれませんが、決して否定しないで、お互いに最後までよく聞くようにしてください。

全員が発表したら、お互いに気になったこと、感じたことを質問したり、話し合ったりしてみましょう。（話し合う時間を決めてもよい。）※ほぼ話し終わったら、リーダーは次のカードに進めてください。※話が長引いているグループには次に進むよう促す。

展開4 （最後のカードが終わったら）得点を確認し、各グループで一番ポイントをとった人に拍手を送りましょう。参加者全員の中で一番だった人に、全員で拍手を送りましょう。

展開5 ゲーム全体をとおして、感想や気付いたことを各グループで話し合ってみましょう。では、各グループごとに、話し合いの内容を発表してみましょう。

展開6 ふりかえりをしましょう。今日のすべての活動から、気付いたこと、感じたこと、これからの生活に生かせることはないか、振り返ってみましょう。

今日の活動のように、自分の意見をもつことはとても大切なことです。同時に人によって様々な考え方があることに気付かれたと思います。自分と違う意見でも、それを尊重してきちんと聞くことは、お互いの理解のために欠かせません。また、違う意見を聞くことで、自分の見方や考え方が広がることもよくあります。反対に自分の固定観念が強すぎたために知らず知らずのうちに偏見や差別につながり、周りの人との人間関係がうまくいかず、かえって、自分を苦しめてしまうことがあります。

今日の気づきを、これからの生活の中で生かしていけると素晴らしいですね。

ワークシート等はホームページを **Check!**

栃木 人権資料

検索



1

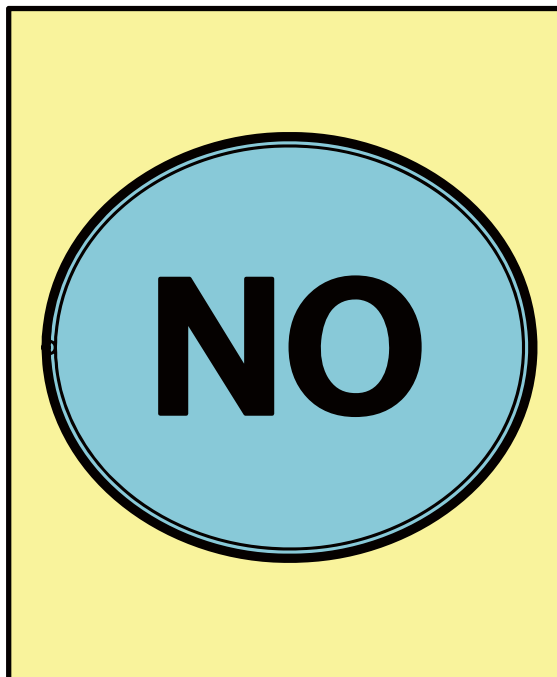
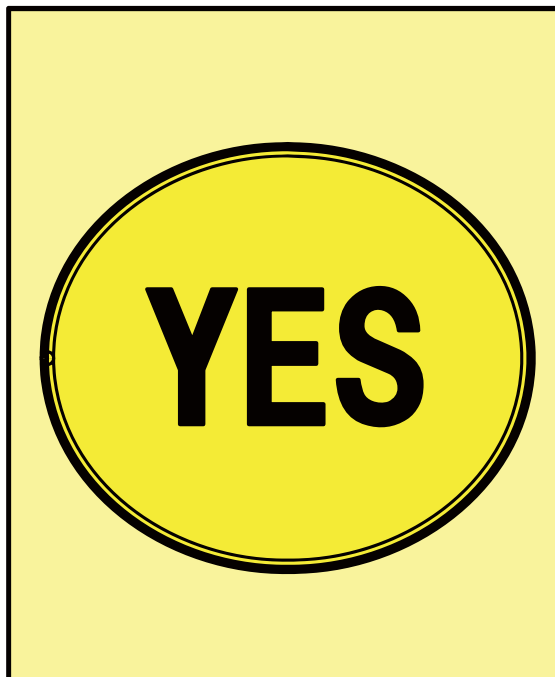
2

高齢者を
対象にした
アクティビティ
【メインアクティビティ】

3

参考資料

YES/NO カード例 (おもて)



得点表のイメージ

| | 1 枚目 | 2 枚目 | 3 枚目 | 4 枚目 | 5 枚目 | 6 枚目 | 合計 |
|------|------|------|------|------|------|------|----|
| A さん | | | | | | | |
| B さん | | | | | | | |
| C さん | | | | | | | |
| D さん | | | | | | | |
| E さん | | | | | | | |

質問カード例（このまま使う場合は A3 サイズに拡大してください。）

| | |
|---|---|
| <p>電車に乗ったら座席が満席だった。つり革につかまって立っていたら、前の座席に座っていた人が立ち上がり、私に座席を譲ってくれた。私は席に…</p> <p>【座る (YES) ・ 座らない (NO) 】</p> | <p>運転免許はあっても、高齢者は車の運転を控えた方がよいと思う。</p> <p>【そうだと思う (YES) ・ そうは思わない (NO) 】</p> |
| <p>どんなファッションをするかは自由なのだから、高齢者でミニスカートも OK だと思う。</p> <p>【そうだと思う (YES) ・ 控えた方がよい (NO) 】</p> | <p>来春 1 年生になる孫娘にランドセルを買う約束をしている。他の女の子はみんな赤いランドセルだそうだが、孫娘は青色のランドセルがほしいと言っている。</p> <p>【青色を買ってやる (YES) ・ 他の色に考え直させる (NO) 】</p> |
| <p>客へのお茶出しをするのは男女どちらでもよいと思うが、窓口で受付や案内をするのは女性がやった方が安心できると思う。</p> <p>【そうだと思う (YES) ・ そうは思わない (NO) 】</p> | <p>自分が悪いわけでもないのに嫌なことを言われたら、はっきり言い返すことは大切なことだと思う。</p> <p>【大切なことだと思う (YES) ・ そうは思わない (NO) 】</p> |
| <p>自治会 (町内会) の役員 (特に会長) に男性が多いのは、女性がやりたがらないからだと思う。</p> <p>【そうだと思う (YES) ・ そうは思わない (NO) 】</p> | <p>バリアフリーなど、障害のある人への対応がかなり進んできたので、障害がある人も働きやすくなったと思う。</p> <p>【そうだと思う (YES) ・ そうは思わない (NO) 】</p> |

1

2

高齢者を
対象にした
アクティビティ
【メインアクティビティ】

3

参考資料



「人と人のつながりを考えよう」 ～フィルムフォーラム『桃香の自由帳』～



ねらい

DVDの視聴をとおして、一人一人が地域社会を担う一員であると自覚し、みんなが幸せに生きていくためには、先入観や思い込みをなくしていく努力が必要であることに気付きます。

| | | | |
|-------|--------------------------------|------|------|
| ◇時間◇ | 50分 | ◇人数◇ | 何人でも |
| ◇準備物◇ | DVD「桃香の自由帳」 企画・編集（公財）兵庫県人権啓発協会 | | |

展開

- 身近な生活の中で、先入観や思い込みが生み出す差別や人権問題についてどんなものがあったか話し合います。
- DVDを視聴します。



<資料名>

「桃香の自由帳」（36分）<県視聴覚ライブラリー所蔵>

<あらすじ>

小学2年生の入江桃香は、ひょんなことから近所に住む山村秀次郎と知り合う。秀次郎は一人暮らしで気難しい老人だと近所でも疎まれていたが、桃香の優しさや人懐こい性格に心を開いていく。桃香には仲間外れになっている堂本志穂という友人がいるが、秀次郎の温かい眼差しに支えられ勇気をもって声をかける。

二人で志穂の母・恵里が働いている地域活動のコミュニティカフェへ行き、そこで松子先生やカフェに集う人たちと楽しそうに過ごす桃香だったが、そこに桃香の母・日菜子が声を荒げながら迎えに来る。

その帰り道、日菜子に対して小さな反乱を起こした桃香は秀次郎と会う。それを見た日菜子は秀次郎を不審者と思い、慌てて駆け寄るが、妊娠していた日菜子は突然のお腹の痛みで倒れてしまう。病院で目覚めた日菜子は秀次郎の機転のおかげで助かったことを知る。そこに、松子先生がコミュニティカフェに忘れていった桃香の自由帳を届けに来る。そのページをゆっくりとめくると、そこには、桃香の思いがぎっしりと詰まっているのだった。

<視聴のポイント>

みんなが幸せに生きていくためにはどんなことが必要なのかを考えます。

- DVDを見た感想を話し合います。
- 活動のふりかえりをします。

***** ファシリテーターの言葉かけ例 *****

展開1 これから、みなさんの身近なところにある人権問題について、DVDを見ながら一緒に考えていきます。

みなさんは、地域で人と接しているときに、先入観や思い込みによって嫌な思いをしたことはありますか？もしくは嫌な思いをしている人を見たことはありませんか？少し時間をとりますので、周りの方と話をしてみてください。

では、どなたか、話したことを、教えてもらえますか。

例)

- 人のうわさ話を信じこんで影口をしてしまう人がいた。
- 近所の子どもに声をかけたら不審者と勘違いされた。

展開2 思い込みによって嫌な思いをすることは、身近にありますよね。それでは、これからDVDを上映します。このDVDでは、どこの地域でも起こりうる出来事を題材として取り上げています。みんなが幸せに生きていくためにはどんなことが必要なのでしょう。そんなことを考えながら視聴してみてください。

展開3 お疲れ様でした。これでDVDは終わりです。

みなさんは、どんな場面が心に残りましたか？よかったと思った場面、逆におかしいと思った場面もあったのではないのでしょうか。少し時間をとりますので、心に残った場面について、どうしてそこが心に残ったのかということも含めて、周りの方と自由に話をしてみてください。

では、どなたか、話したことを、教えてもらえますか。

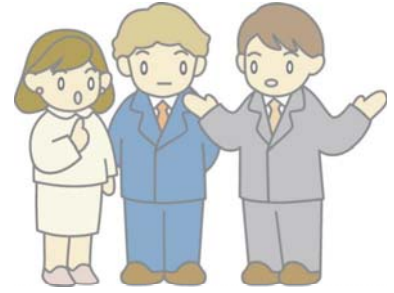
例)

- 桃香が友達に仲間外れをしようと言われた場面。親の言っていることが子どもに大きな影響を与えるのだと改めて思った。
- 最初、秀次郎が桃香に声をかけたときに、桃香が距離をとった場面。不審者のことを考えると仕方がないのかもしれない。
- 桃香の母親が、事実を知って、それまでの先入観や思い込みを改めた場面。知らず知らずのうちに自分でもしているんじゃないかと考えさせられた。

展開4 この時間のふりかえりをしましょう。今日の時間で何か気付いたことはありますか。また、これからの生活で生かせることがありましたか。(時間があれば、何人かの人に発表してもらおう。) 私たち一人一人が先入観や思い込みをなくしていく努力をしていくことが、不当な差別をなくし、みんなが幸せに生きていける社会を作るために重要になってくるのではないのでしょうか。今日の気づきを、これからの生活の中に生かしていけると素晴らしいですね。

フィルムフォーラムについて

ビデオ教材等を視聴し、参加者全員で感じたことや意見を述べ合う手法を、フィルムフォーラムといいます。視聴覚教材をとおして、人のぬくもりや優しさ、生きることのすばらしさを具体的な場面をとおして考えることができます。



利点

- ・ 参加者全員が、映像視聴により得られる**共通の疑似体験**をもとに話し合いを進めることができます。
- ・ 視聴者に映像をとおして直接訴えかけるため、**内容の理解が容易**です。
- ・ 参加者の身近にある様々な人権問題について、**共感的な理解**を図ることができます。
- ・ 参加者の日常生活とからめて考えることができるので、**多様なテーマに対応**することができます。
- ・ 参加者の動きが少なくすみ、移動に配慮が必要な方が多く参加される講座や、大人数での研修にも対応できます。
- ・ 人権教育を担当して間もない方も、比較的取り組みやすい活動です。

留意点

- ・ 研修参加者の実態に合わせ、**学習のねらいや目的に合った教材**を選定するとよいでしょう。
- ・ 内容を十分に把握し、**視聴のポイントや話し合いの観点**を明確に示せるように、事前に視聴をしておくとい良いでしょう。
- ・ 時間配分を考慮し、**視聴後に話し合いの時間**を十分確保できるようにするとよいでしょう。

学習の進め方

- 1 あらすじや視聴のポイント等について説明します。また、参加者にテーマについての考えを発表してもらうことで、学習意識を高めることができます。
- 2 ビデオ教材等を視聴します。
- 3 研修のねらいや目的、視聴のポイントに基づいて、グループや全体で話し合いをします。視聴後に、短い時間でも話し合いをすることによって、相互のコミュニケーションや個人の意見を認め合うことの大切さに気付かせることができます。
- 4 話し合いの内容等について、学習者自身のふりかえりや講師によるまとめを行います。また、補足説明をすることで、人権問題に対する正しい理解と認識を深めることができます。

視聴覚教材を探してみよう

問合せ先

| | | |
|------------|-----------------------|--------------|
| ★ 栃木県教育委員会 | | |
| 総務課人権教育室 | (県 庁 内) | 028-623-3363 |
| 河内教育事務所 | (河 内 庁 舎 内) | 028-626-3183 |
| 上都賀教育事務所 | (上 都 賀 庁 舎 内) | 0289-62-7167 |
| 芳賀教育事務所 | (芳 賀 庁 舎 分 庁 舎 内) | 0285-82-3324 |
| 下都賀教育事務所 | (下 都 賀 庁 舎 内) | 0282-23-3422 |
| 塩谷南那須教育事務所 | (塩 谷 庁 舎 内) | 0287-43-0176 |
| 那須教育事務所 | (那 須 庁 舎 内) | 0287-23-2177 |
| 安足教育事務所 | (安 蘇 庁 舎 内) | 0283-23-1471 |
| 県視聴覚ライブラリー | (総 合 教 育 セ ン タ ー 内) | 028-665-7207 |
| 県立足利図書館 | (足 利 市 有 楽 町) | 0284-41-8881 |

★ 栃木県人権・青少年男女参画課人権施策推進室
とちぎ人権啓発情報センター(県庁内) 028-623-3027

人権に関する視聴覚教材のご相談は、まずは、お近くの教育事務所ふれあい学習課までお問い合わせください。



1

2
高齢者を
対象にした
アクティビティ
【メインアクティビティ】

3

参考資料

視聴覚教材の借用手続き

1 借り受けを希望される視聴覚教材が貸し出し中、もしくは予約が入っている場合がありますので、上記の問合せ機関に電話で確認してください。(問合せ先の各機関が所有している視聴覚教材については、ホームページから確認できます。)

栃木県教育委員会 → 人権教育 → 人権教育施策 → 視聴覚教材の整備

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m01/education/jinken/kyouiku/shichoukakukyouzai.html>

2 貸し出し可能な場合は、ホームページから借用申請書をダウンロードし、必要事項を記入・捺印し、各機関まで提出してください。(申請書は各機関にもありますので、借用当日各機関で記入することも可能です。)

※貸し出し数及び期間は、各機関によって異なりますので、確認してください。

※視聴覚教材の貸し出しについては無償です。原則、貸し出し及び返却の際は、直接各機関へ来ていただきますが、事情により郵送を希望される場合は相談してください。(郵送料については、別途料金がかかります。)

3 返却の際、栃木県教育委員会の機関では上映報告書を提出します。事前にホームページからダウンロードして記入するか、返却時に各機関で記入します。



高齢社会を生き生きと



ねらい

生き生きと幸せに暮らすために、他者との価値観に違いがあることに気付き、互いに認め合い、人権を尊重しようとする意識を高めます。

| | | | |
|-------|----------------------------------|------|------------|
| ◇時間◇ | 60分 | ◇人数◇ | 1グループ3人～5人 |
| ◇準備物◇ | A3用紙に拡大したワークシート 切り取ったA～Iのカード テープ | | |

展開

- 1 高齢者が普段生活していて、楽しみなことややってみたいことを出し合います。
- 2 高齢者が生き生きと幸せに生活していく上で大切なことを、カードを使って各自でランキングを行います。

※高齢者以外の他の世代を対象にしたアクティビティにもアレンジすることができます。

AからHのカードに、高齢者が生き生きと幸せに生活していく上で大切だと考えられる事柄が書いてあります。Iのカードには何も書いていないので、各自で、大切だと思うことを書きます。(どうしても思いつかない場合は無理に書かなくても大丈夫です。)

A～H (I) のカードを、高齢者が生き生きと幸せに暮らすための大切さを考えながらワークシートにランキングをします。

- A ボランティアなど社会や地域に役立つようなことをすること
- B スポーツや趣味など楽しめるグループをもつこと
- C ユーモアなど生活を楽しむ気持ちをもつこと
- D 十分な医療を受けられるよう保険に加入しておくこと
- E 健康に気を付けて生活すること
- F 普段利用する店や病院の近くなど便利な場所に住むこと
- G 自分でできる仕事を確保し収入を得ること
- H 家族や親しい人と共に暮らすこと
- I ～自分の考え～

* A3用紙に拡大してお使いください。

幸せランキング

| | | | | |
|-------------|---|---|---|---|
| 大 切 さ | ♥ | ♥ | ♥ | ♥ |
| | | ♥ | ♥ | ♥ |
| | | ♥ | ♥ | |
| | | ♥ | | |

- 3 グループで順番に、「幸せランキング」の一番上の欄のカードについて、理由も含め発表します。(進行状況により、発表する数を変更することができます。)
- 4 グループの全員で「幸せランキング」を見せ合い、質問や感想、意見等を出し合います。その後、他のグループの「幸せランキング」も見に行きます。
- 5 ふりかえりを行い、気付いたことや感じたことを発表します。

***** ファシリテーターの言葉かけ例 *****

展開1 これから、みなさんの幸せや生きがい、価値観について考えていきます。普段生活していて、楽しみなことやこれからやってみたいことなどを自由に発表してください。

例)・孫が遊びに来る ・好きなテレビを見る ・ウォーキングをする ・旅行に行く

展開2 AからIのカードを見てください。生き生きと幸せに生活していく上で大切と考えられる事柄がカードに書いてあります。

始めに、Iのカードには何も書いてありませんので、A~H以外で大切と思うものがあれば書いてください。どうしても思いつかない方は無理に書かなくても結構です。

次に、A~H (I) のカードを、生き生きと幸せに暮らすための大切さを考えながら、ワークシートに4段階に分けます。貼る数は自分で決めます。上の欄にいくほど大切さが増し、一番上の段が最も大切なものになります。

展開3 各自で考えた「幸せランキング」を全員に見えるように机に置いてください。一人ずつ順番に、一番上の欄のカードについて、どうしてこの順位にしたのか、理由を説明してください。

展開4 次に、机の中央付近にグループ全員の「幸せランキング」を置いてください。グループで全員のワークシートを見ながら、質問や感想、意見等を出し合ひましょう。

例)・ランキングについての質問や感想、意見。


- ・(展開3における) カードの説明についての質問や感想、意見。
- ・Iのカードについての説明。
- ・カードに書かれている以外に大切と思うことの説明。

その後、周りの人の「幸せランキング」はどのようになっているか、見に行きましょう。他の人の「幸せランキング」を見た感想を聞かせてください。(何人かに聞く。)

展開5 この時間のふりかえりをしましょう。グループで全員のランキングの発表を聞いたり、他のグループのランキングを見たりして、一人一人の思いや価値観の違いに気付いたと思います。様々な考えをもった人たちが仲良く、生き生きと幸せに暮らすためには私たちはどのようなことに気を付けていけばよいのでしょうか。気付いたことをグループで話し合ひましょう。

他者の価値観や生きがいを理解し、互いに認め合い人権を尊重する意識を高めることが、豊かな生活を支える基盤となり、生き生きと幸せに暮らす社会づくりにつながるかもしれません。

今日の気づきを、これからの生活の中に生かしていけると素晴らしいですね。

ワークシート等はホームページを  Check!

栃木 人権資料

検索



1

2

高齢者を
対象にした
アクティビティ
【メインアクティビティ】

3

参考資料

*点線を切り取ってお使いください。

| A | B | C |
|--------------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|
| ボランティアなど 社会や地域に役立つ ようなことをすること | スポーツや趣味など 楽しむ グループをもつこと | ユーモア など生活を楽しむ気持ちをもつこと |
| D | E | F |
| 十分な医療 を受けられるよう保険に加入しておくこと | 健康 に気を付けて生活すること | 普段利用する店や病院の近くなど 便利な場所 に住むこと |
| G | H | I |
| 自分でできる 仕事 を確保し収入を得ること | 家族や親しい人 と共に暮らすこと | |